

平成 30 年度 入試広報課 重点目標（中間報告）

入試広報課の重点目標：『つながりを深める媒体となる』

木更津総合高校の情報を得たいと考えている外部の方々には、我が校の特色ある教育内容（幅広い進路に対応するコース制や手厚い進路指導など）、充実した学園生活（特色のある行事や活発な部活動など）等、我が校の長所や魅力を十分アピールしていきたい。

在校生に対しては、自分が在籍する学校への愛着を感じ、木更津総合高校の生徒として誇りを持ち、愛校心を育む内容となるよう掲載記事の編集に努める。また規模の大きな学校であるがゆえに、自分とかわりの浅い活動や他ハウスの事情に疎くなりがちである。その情報のギャップを埋める一助となるよう幅広い情報の収集に努める。

保護者に対しても、学校への理解を深めていただけるよう、校内の出来事や学校行事等の情報を発信していきたい。

自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項
2	学校行事や部活動の成績など、常に新しい情報や出来事をホームページ等で発信できている。ただし、学校の外で行われる試合や催事については、広報課だけではカバー仕切れない。部活動から記事や写真の提供を受け HP に掲載している。 学年便りなど生徒・保護者宛の文書を配布する際にウェブでお知らせやクラッシーをもっと活用したほうがよいという意見がある。紙媒体を減らすことも大切であるし、伝達内容の軽重にもよるので、その都度ふさわしい方法を考えていきたい。	・学年だよりの発行日を早めにとる意見があったが、4月号の発行が遅れることが影響している。9月号から早めの発行ができる。 ・HP で予定や行事の告知の発信数が少ないという意見が出た。現在スマートフォンリニューアルで技術的に可能かどうか、検討中である。

入試広報課の方針

① 正確な情報収集と迅速な発信

掲載記事を生き生きとした内容にするためには、常に最新の情報を集め迅速な更新が求められる。拙速なものにならないよう情報を精査し、齟齬や誤謬のない編集を心がける。また、個人情報の管理にも十分配慮する。

自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項
3	迅速な情報収集、記事の校閲などを行うことができおり、おおむね良好だと言う意見が複数出ている。記事の内容も課員の校閲を経るだけでなく、発表前に関係する部署に確認を受けている。	・慎重を期しているため、なかなか即日の発表は難しい。

② 入試広報課内の連携と役割分担の徹底

各ハウス2名ずつと、手厚い人員配置となっている。業務内容を確認し各担当者の役割分担を決め、協力し合える体制を作る。

自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項
2	ハウス内で役割分担(ハウスだより・今日の一言など)を行い、業務を行っている。課長を除く課員は、他の分署と兼務するため、作業の負担が大きくなっていくケースがある。	・負担の偏りがある、という意見が複数あった。作業量を精査し、改善に努める。

③ 各ハウス、各部署、生徒会及び部活動顧問との密な連絡

HP 上の様々な情報、部活動紹介や『今日の一言』、学年便りなど、多方面の教職員各位から協力を得られなければ、成り立たないものばかりである。連絡を密に取り、協力を要請する。

自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項
3	多くの教職員の協力があつたので、様々な情報を発信できている。良好だと言う意見が多くあつた。	特に部活動の戦績を確認する作業には各顧問の協力を得ている。